

女鳥羽川清掃範囲



出典：松本市ホームページ デジタルマップ

元町南区公民館

女鳥羽川清掃で大活躍のビーバーボランティア

元町南区町会では大勢のボランティアが活躍しています。毎年4月の元町南区町会の総会が終わると、新役員を盛り上げるため下記のボランティアの募集をいたします。

- ① ビーバーボランティア
  - ② フラワーボランティア
  - ③ 福祉ボランティア
  - ④ 「お便り」編集ボランティア
- 今回は女鳥羽川清掃で大活躍の4つです。



城東

● 城東地区 ●  
 1953 世帯  
 男 1729 人  
 女 1853 人  
 合計 3582 人  
 R4.7.1 現在

躍のビーバーボランティアを紹介します。  
 今年のビーバーボランティアは12名集まりました。元町南区の女鳥羽川清掃範囲は(上図 参照)

① 桜橋から100メートル下流の源橋から桜橋の上流200メートルまでの間の東側河岸

② 元町西友の裏から女鳥羽川へそそぎ込む湯川の両岸の草刈り清掃です。  
 毎年、5月から10月末までの6カ月のうち毎月1回草刈りをしますので、年6回清掃することになります。

以前は6時から電動草刈り機で草を刈ったすぐ後に、草集め部隊が袋に詰めていきましたが、機械の周りで作業をするとケガをする危険があり、また草刈り機と袋詰めの人との人数バランスが悪いため、草刈り機部隊を一週間早めて草を刈り、乾燥させて翌週に草集めする今の形へと変更いたしました。

今年の第1回目のビーバーボランティアの出番は5月7日でした。ビーバー隊12名のうち7名は町会所有の草刈り機を受け取り、4名は個人の草刈り機を持ち寄り、残りの2名は機械のメンテナンスや竹箒で道路を綺麗に掃きます。草刈りは女鳥羽川の土手と川の中州から始め、終わると湯



大活躍のビーバーボランティア

ました。

川の土手へ移動し、西友から上流に向かって進みました。翌週の5月14日土曜の朝に刈り取った草が軽くなったところで、今度は町会全員で草を集めて袋詰めをしました。その結果、60袋にもなりました。

第2回目のビーバー草刈りは6月4日に、草集めは6月11日に終わりました。

集め部隊が袋に詰めていきましたが、機械の周りで作業をするとケガをする危険があり、また草刈り機と袋詰めの人との人数バランスが悪いため、草刈り機部隊を一週間早めて草を刈り、乾燥させて翌週に草集めする今の形へと変更いたしました。

今年の第1回目のビーバーボランティアの出番は5月7日でした。ビーバー隊12名のうち7名は町会所有の草刈り機を受け取り、4名は個人の草刈り機を持ち寄り、残りの2名は機械のメンテナンスや竹箒で道路を綺麗に掃きます。草刈りは女鳥羽川の土手と川の中州から始め、終わると湯



# 人生を彩る趣味

## インコを飼育している宮島さん

我が曙町内に小鳥の飼育をされている宮島さんのご紹介をします。

飼育している小鳥はセキセイインコ、飼育は10年ほど前から始めたそうで現在は30羽ほどのインコを飼育しています。多い時には50羽ほどいたそうで、飼育を始めたきっかけは友人より小鳥をいただき育てたところ楽しくなり病み



飼育室 (写真1)

つきになったとのことでした。また繁殖も行っていて30羽ほど繁殖に成功、友人や飼育仲間にお分けしたりしているそうです。飼育の楽しみは手をかけてやればやるほどなついてくること、また、繁殖するたびに鳥の色が変わり、どんな色が出るのかをとっても楽しみにしているようです。また立派な飼育室(写真1)が自宅玄関先にあります。すべてご自身で作られたそうでこれにも驚きました。この飼育室からインコに逃げられたことはありませんかとお聞きしたところ、飼育室に入るときには十分に気を付けているので今までは一度も逃げられたことはないそうです。

飼育をしている中で一番気を遣うことは小鳥の病気で、インコは病気を隠す習性があるので毎日の観察が重要です。今までは病気になることとはありませんが病気かもしれないと思つた時には手遅れにならないよう日々気を付けているそうです。病気にかからないよう注意をすれば6〜7年程度は一緒に楽しい生活ができますが小鳥が亡くなったときは本当に辛いそうです。

飼育に費やす時間はお聞きしたところ餌やりなどに一日10分程、それから週に1回飼育室内の掃除を30分ほどかけて清潔にしているそうです。飼育にはあまり時間をとられないように、飼育しやすい種類の小鳥のようです。エサ代は月に1500円程度かかり市販されているエサを与えていますが、おやつについてはスナック菓子とチョコレート系の食べものは厳禁だそうです。さて小鳥の性格ですが、オスはさえずり上手でおしゃべり好き。また、日々のお世話の中で、セキセイインコに向かって言葉でコミュニケーションをとると、飼育主の色々な言葉を覚えて、日頃から話すようになるそうですがおしゃべりができるかどうかは、個体差があるので絶対できるといわけにはいかないそうです。

一方メスのほうはおスに比べると多少静かめになる傾向があるようです。オスは、おしゃべり上手で個体が大きく行動的、メスは鳴き声が小さくおとなしい。小鳥を介して鳥仲間が増え家族の話題が増えたことが良かったそうです。



かわいいインコたち

もし飼育をしてみたいという方は相談にのっていただけると幸いですし、見学は自由にさせていただきます。興味をお持ちの方は是非一度かわいいインコ達に会いに行ってみてください。

## 第43回 マレットゴルフ 大会開催

松本では季節外れの36.2℃という猛暑に見舞われた6月28日、杉木立の爽やかな風が吹く信州大芝公園マレットゴルフ場で16名が参加し第43回の大会が開催されました。

熱戦の結果は、左記のとおりです。

- 1位 中原 丸美さん (曙町町会)
- 2位 飯嶋 邦子さん (元町北町会)
- 3位 下山 進さん (元町北町会)



優勝の中原さんのホールインワンしたティースhots